

AR体積管理ソリューション「GENBA-Scan」をリリース

株式会社イクシス（本社：神奈川県川崎市、代表取締役 Co-CEO：山崎文敬、狩野高志）は、2024年7月2日付で、AR体積管理ソリューション「GENBA-Scan」（以下、「本サービス」という）をリリースしたことをお知らせします。

【GENBA-Scan 特設サイト及び紹介動画】

- ・ 紹介動画 <https://youtu.be/e5s6brs0U8I>
- ・ 特設サイト <https://www.ixs.co.jp/genba-scan>



■ 本サービスで解決する課題

ストックヤード・土木現場・プラントなどにおいては、日々の現場で資材や土量などの体積管理が行われています。従来の体積管理では以下の課題がありました。

- ・ 測定前に重機によるならし作業が必要
- ・ 複数人でメジャーを使用するなどして人手が必要
- ・ 測定後、紙で記録し、それを元にした帳票作成業務が必要

上記の課題に対し、ARを活用した体積管理ソリューションを提供することで、現場の省力化、DX化を実現いたします。

■ 本サービスの概要

本サービスは、当社が提供する体積測定アプリと専用端末レンタルサービスです。ストックヤード・土木現場・プラントなどにおける、資材や土量などの体積管理に活用いただけます。体積測定から帳票出力までがスマホひとつで完結するので、作業者がその場でひとりで測定を実施でき、現場のDX推進に貢献します。



導入メリット



■ 本サービスの特徴

- ひとりでできる

従来、複数名で実施していた計測・記録・確認・帳票作成が一人でできます。計測前の重機によるならし作業も不要です。さらに、帳票が自動作成されるため、報告書作成の手間が大幅に削減でき、計算・転記ミス防止にもつながります。

- シンプルで使いやすい AR

計測開始、停止ボタンと計測メニューの3つだけなので誰にでも使用できます。計算された体積・容積はアプリ画面ですぐに確認できます。

- 現場に適した3つの計算モード

現場の状況に合わせた3つの計算モードを有しています。

体積モード	設定した床面より上側の凸部の体積を計算。床や地面に積まれたものを計算する場合に使用
容積モード	設定した床面より下側の容積を計算。床や地面などでくぼんだ部分を計算する場合に使用
差分モード	上側の体積と下側の容積の差分を計算

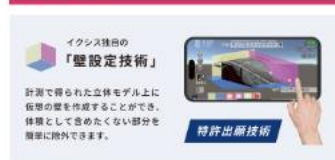
- 仮想壁設定機能

仮想壁設定機能で計測範囲を囲うことで、実際の壁の有無に関わらず計測ができます。

選べる3つの測定モード

モード	測定図	ご使用例
1 体積モード		ストックヤード 積土場 コンクリート基礎 埋設物
2 容積モード		掘削土場
3 差分モード		埋設物 掘削土場

簡単操作



製品仕様

利用端末	iPhone15 Pro (レンタル)		
出力 ファイル形式	htmlファイル (簡易データ)	ayaファイル (拡張データ)	ARJファイル (3Dモデルデータ)
	CSVファイル (測定数値データ)		



■当社の概要

イクシスは「ロボット×テクノロジーで社会を守る」をミッションとし、ロボットや AI・XR、3D データソリューションを連携したサービスの社会実装により、社会・産業インフラ業界の DX 支援、そして社会課題の解決への貢献を目指しています。

設立	1998 年 6 月
所在地	神奈川県川崎市幸区新川崎 7-7 AIRBIC 内
代表者	Co-CEO 兼 CTO 山崎 文敬、 Co-CEO 狩野 高志
事業内容	社会・産業インフラ向けロボットソリューション AI・XR・3D データソリューション
HP URL	https://www.ixs.co.jp/

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社イクシス
神奈川県川崎市幸区新川崎 7-7 かわさき新産業創造センター (AIRBIC) 内
Business Development Division
電話：044-589-1500 、メールアドレス：press@ixs.co.jp

以上